

【注 意】

当記者発表資料の掲載画像の無断利用や複製はご遠慮ください。

（作品画像の利用を希望される場合は、「広報用画像利用申請書」のご提出をお願いします。）

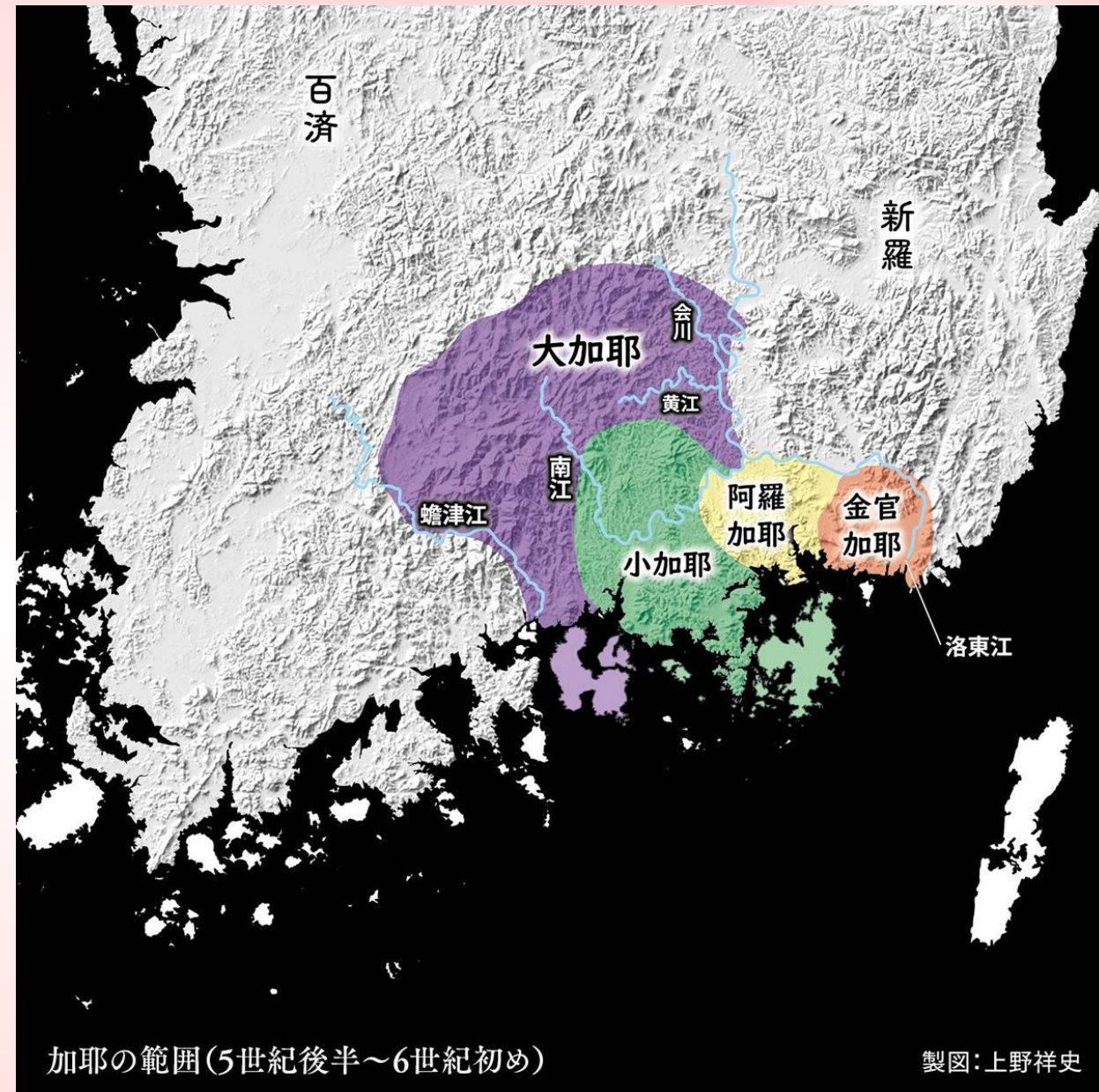
特別展
加
耶
かや

令和5年(2023)

1/24^火 ~ 3/19^日

加耶（かや）とは

- 3～6世紀ごろ、朝鮮半島南部に存在した小国の総称。
- そのころ、東には**新羅**、西には**百濟**、北には**高句麗**が割拠。
- 日本列島では古墳時代。対外的には「**倭**」と呼ばれていた。



特別展「加耶」の見どころ



- 日本国内では**30年ぶり**、加耶をテーマにした大規模な展覧会
- **最新の発掘成果**をもとに、加耶の興亡と交流の歴史を示す
- 加耶と**倭（日本）**の交流を考古資料から示す
- 韓国から巡回した「第一部 加耶の興亡」に加え、国内資料による「**第二部 渡来人**」を追加
- 加耶の金銅冠（**韓国宝物**）、千葉の渡来人形埴輪（**千葉県指定文化財**）、長野の渦巻文装飾付鉄剣（**長野県宝**）など、貴重な資料が一堂に



第一部 加耶の興亡

- 鉄で栄え、金をまとった加耶の歴史をたどる
- 第1章 加耶を語るもの
- 第2章 加耶への道
- 第3章 加耶人は北へ南へ
- 第4章 加耶王と国際情勢
- 第5章 加耶のたそがれ

第1章 加耶を語るもの

- 豊かな鉄

鉄の国、
加耶のあかし



阿羅加耶

加工



阿羅加耶

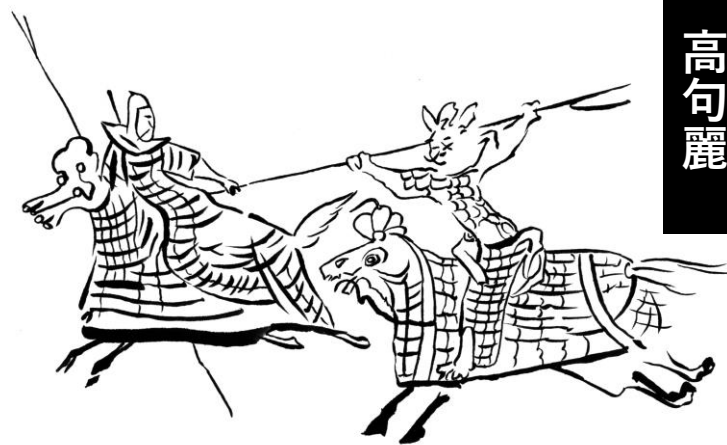
鉄の素材
(インゴット)

有刺利器 (ゆうしりき)
咸安道項目里 (文) 10号墳出土
4世紀末～5世紀前半
韓国国立金海博物館蔵

鉄鋌 (てってい)
咸安道項目里 (文) 10号墳出土
4世紀末～5世紀前半
韓国国立金海博物館蔵

第1章 加耶を語るもの

- 飾られた馬



高句麗

参考 高句麗壁画古墳の馬



大加耶

馬冑（ばちゅう）
陝川玉田M3号墳出土
5世紀後半
韓国国立晋州博物館蔵

馬も
万全の防備

鞍に
固定



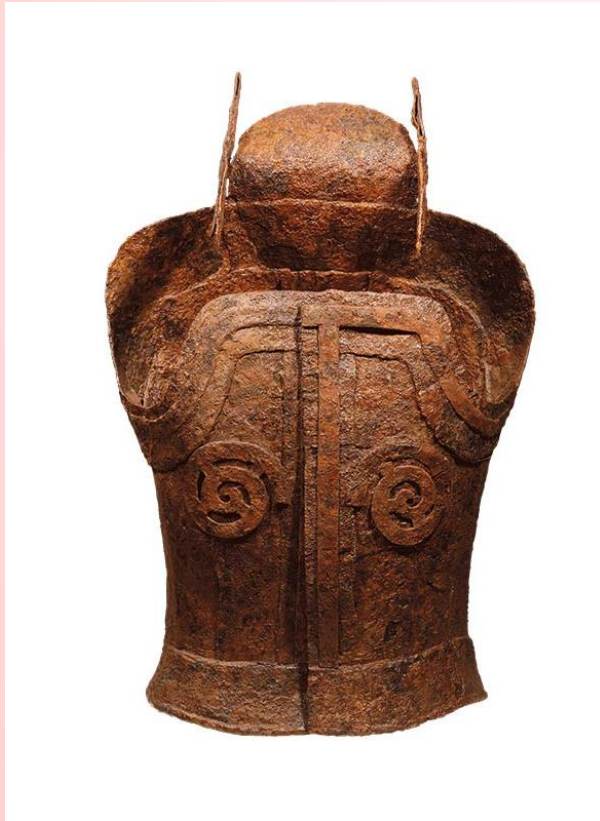
大加耶

蛇行状鉄器（だこうじょうてっき）
陝川玉田M3号墳出土
5世紀後半
韓国国立晋州博物館蔵

旗を
挿す

第1章 加耶を語るもの

- 鉄の甲（よろい）



金官加耶



短甲（たんこう）
伝 金海退来里出土
4世紀
韓国国立中央博物館蔵

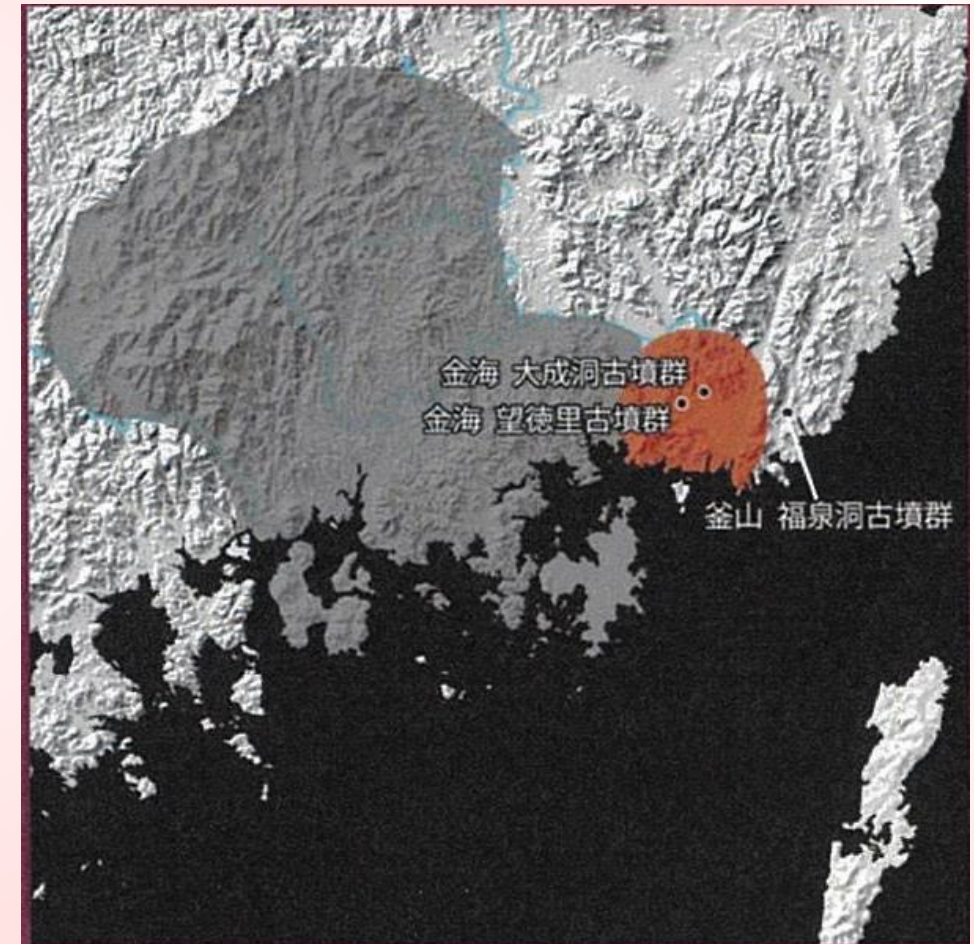


鉄板が縦方向

渦巻で飾る武人

第1章 加耶を語るもの

- **金官加耶**（きんかんかや）
- 最初の加耶
- 魏志倭人伝にも登場する「狗邪韓国」（くやかんこく）から成長し、最初に「カヤ」と呼ばれ、4世紀に栄えた。
- 王陵は大成洞（テソンドン）古墳群。

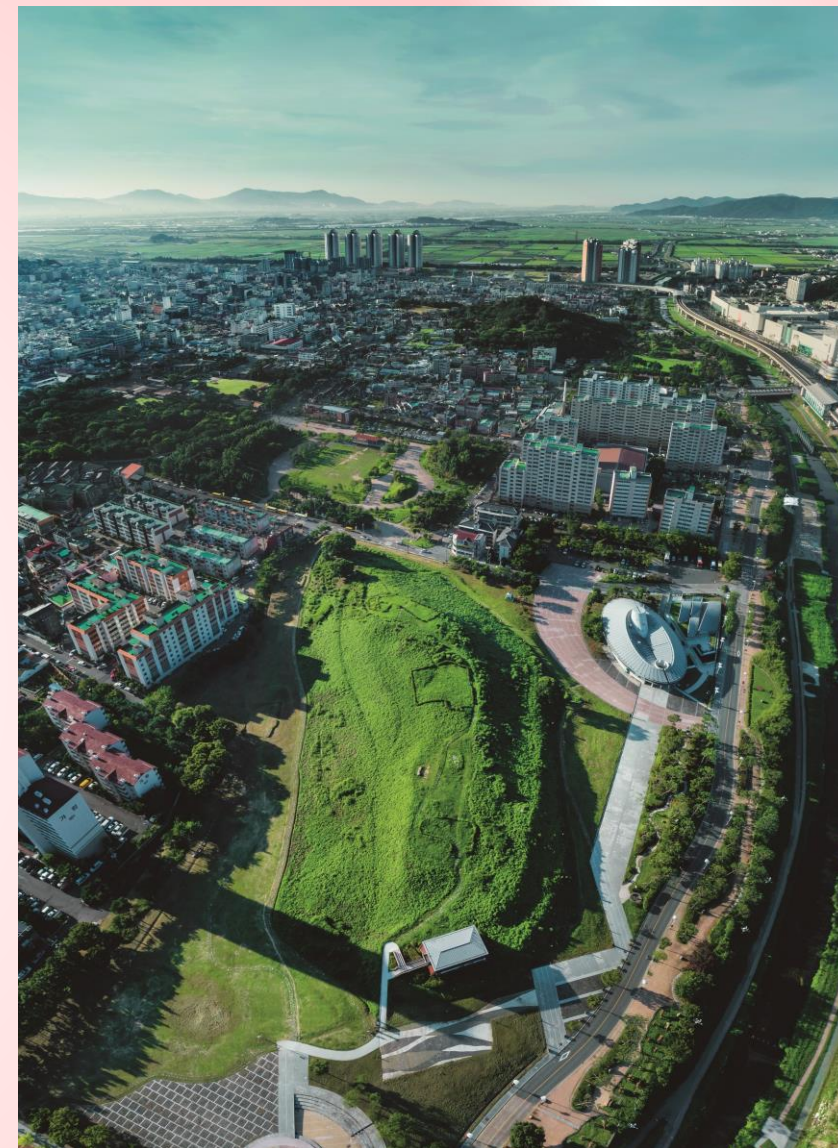


第1章 加耶を語るもの

• 金官加耶 (きんかんかや)

死者の魂を
運ぶ鳥

鴨形土器 (かもがたどき)
金海望德里I-194号墓出土
4世紀
韓国国立金海博物館蔵



金海大成洞古墳群

第1章 加耶を語るもの

- **阿羅加耶**（あらかや）
- 個性の加耶
- 鉄鋌を加工した有刺利器、土器に開けた火焰状のすかしなど、個性的な造形があふれる。
- 王陵は末伊山（マリサン）古墳群。



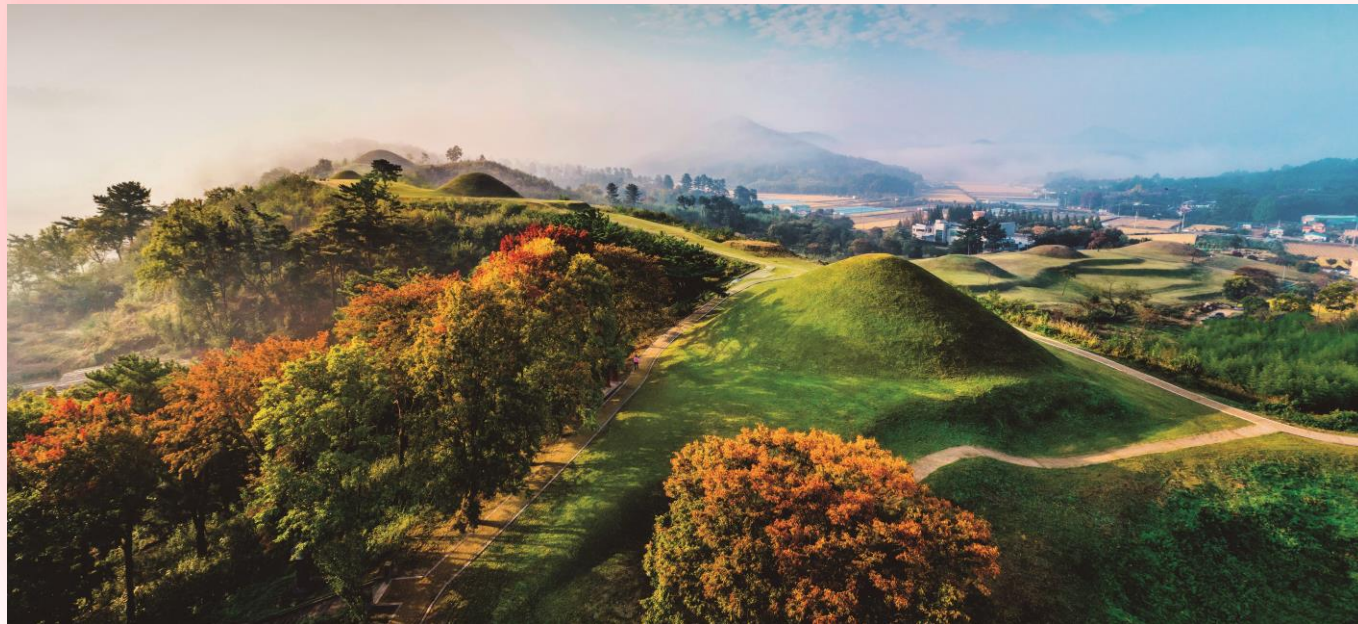
第1章 加耶を語るもの

- **阿羅加耶**（あらかや）

阿羅加耶の象徴、
火焰状すかし



阿羅加耶

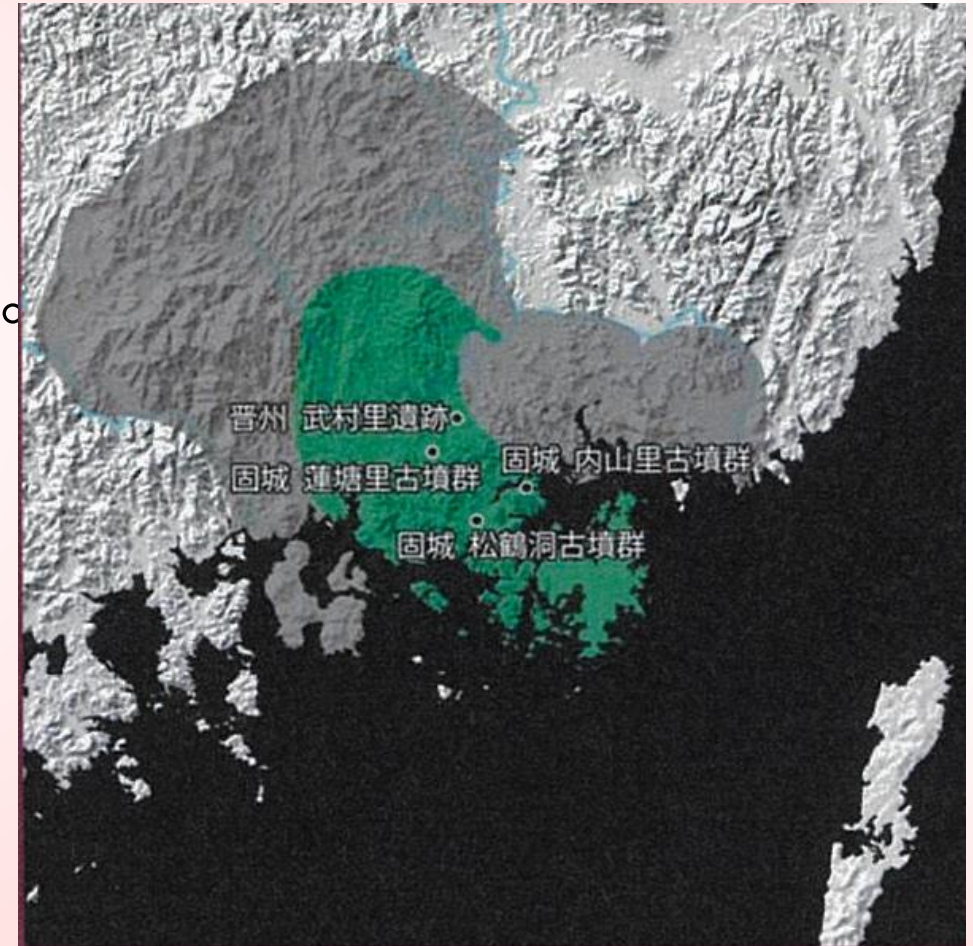


咸安末伊山古墳群

高杯（たかつき）
咸安道項里（慶考研）13号墳出土
5世紀前半
韓国国立金海博物館蔵
（蓋は展示しない）

第1章 加耶を語るもの

- **小加耶**（しょうかや）
- 日本にいちばん近い加耶
- 海に面し、倭（日本）とも関係が深い。
大加耶と倭を小加耶が仲介した。
- 王陵は松鶴洞（ソンハクトン）古墳群。



第1章 加耶を語るもの

・ 小加耶 (しょうかや)

ほっそりが
好きな小加耶

筒形器台 (つつがたきだい)
固城蓮塘里18号墳出土
6世紀前半
韓国国立晋州博物館蔵



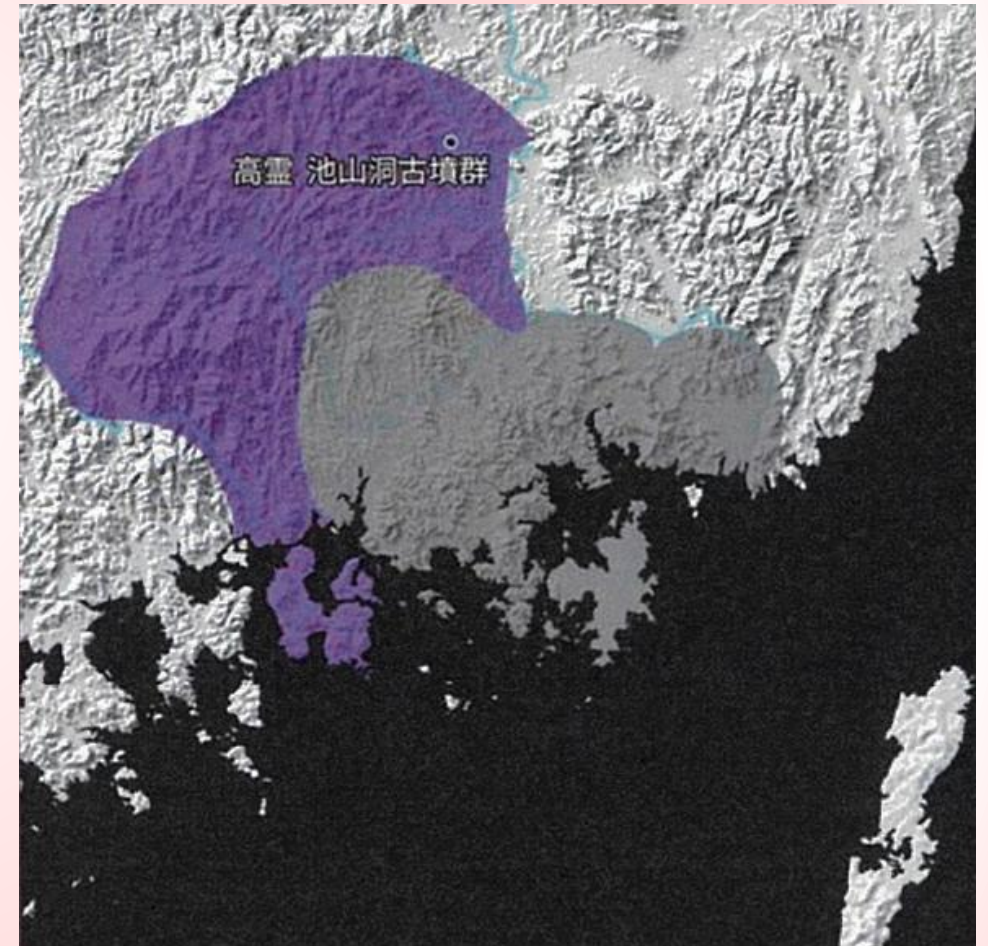
小
加
耶



固城松鶴洞古墳群

第1章 加耶を語るもの

- **大加耶**（だいかや）
- 最強の加耶
- 5世紀以降に台頭し、独自に中国に遣いを送った。ほかの加耶諸国とともに、最後まで新羅に対抗した。
- 王陵は池山洞（チサンドン）古墳群。



第1章 加耶を語るもの

• 大加耶 (だいかや)



高霊池山洞古墳群

王陵から出土、
壺を載せるため
の土器



大加耶

筒形器台 (つつがたきだい)
高霊池山洞32号墳出土
5世紀中葉
韓国国立晋州博物館蔵

第2章 加耶への道

- 海を介したアジアとの交流



弁韓

中国（楽浪郡）
との交流

銅鼎（どうかなえ）
金海良洞里322号墓出土
3世紀中葉（墳墓の年代）
韓国国立金海博物館蔵

弁韓

弁韓（べんかん）
は加耶の前身



弥生時代の銅矛
倭との交流

広形銅矛（ひろがたどうほこ）
金海良洞里200号墓出土
3世紀前半（墳墓の年代）
韓国国立金海博物館蔵

第2章 加耶への道

- 墳墓から見た加耶



板状鉄斧 (いたじょうてつぶ)
金海大成洞29号墳出土
3世紀後半
韓国国立金海博物館蔵

最初の
加耶王陵



数十枚を
床に敷き詰め
ていた

金海大成洞29号墳

第2章 加耶への道

- 盟主としての大加耶



大加耶

参考 ヤコウガイ製の匙
高霊池山洞44号墳出土
5世紀後半
韓国国立慶州博物館蔵
(展示作品ではありません)

奄美、沖縄
とも交流

大加耶の王の墓に、
多数の殉葬槨



高霊池山洞44号墳

第2章 加耶への道

- 盟主としての大加耶

金の鎖は
大加耶の装い



大
加
耶

金製耳飾り（きんせいみみかざり）
陝川玉田M4号墳出土
6世紀前半
韓国国立晋州博物館蔵

大加耶の王、
ここにあり



大
加
耶

韓国宝物 金銅冠（こんどうかん）
高靈地山洞32号墳出土
5世紀中葉
韓国国立大邱博物館蔵
（画像提供：啓明大学校博物館）

第3章 加耶人は北へ南へ

中国との交流



金官加耶

帯金具（おびかなぐ）
金海大成洞88号墳出土
4世紀中葉
大成洞古墳博物館蔵

倭との交流



金官加耶

巴形銅器（ともえがたどうき）
金海大成洞88号墳出土
4世紀中葉
大成洞古墳博物館蔵

沖ノ島祭祀遺跡
が重要な役割



金官加耶

土師器系土器（はじきけいどき）
金海大成洞13号墳出土
4世紀前半
大成洞古墳博物館蔵

第4章 加耶王と国際情勢

・加耶王と倭



小加耶

須恵器（甗）（すえき（はそう））
固城松鶴洞1号墳1B-1号石室出土
6世紀前半
韓国国立晋州博物館蔵

大加耶の王に、
倭のよろい

小加耶の王に、
倭のうつわ

鉄板を横方向
に分割する



大加耶

帯金式甲冑（おびがねしきかっちゅう）
高霊池山洞32号墳出土
5世紀中葉
韓国国立大邱博物館蔵

第4章 加耶王と国際情勢

• 加耶王と新羅



大加耶

ガラス容器（がらすようき）
陝川玉田M1号墳出土
5世紀後半
韓国国立晋州博物館蔵

新羅様式の
アクセサリー

新羅へ、
そして地中海へ



大加耶

鳥翼形冠飾り（ちょうよくがたかんむり
かざり）
高霊池山洞73号墳西殉葬槨出土
5世紀中葉
大加耶博物館蔵

第4章 加耶王と国際情勢

海上交通にかかわる
祭祀に大加耶が参加

・ 加耶王と中国・百済



大加耶

479年、大加耶
が南齊に遣使

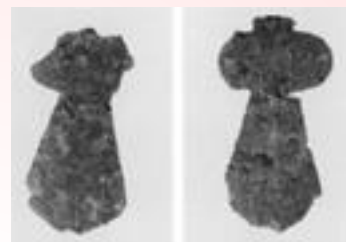
中国・南朝
の青磁

青磁鶏首壺（せいじけいしゅこ）

南原月山里M5号墳出土

5世紀後半

韓国国立全州博物館蔵



剣菱形杏葉（けんびしがたぎょうよう）

心葉形杏葉（しんようけいぎょうよう）

鉄矛（てつほこ）

扶安竹幕洞祭祀遺跡出土

5世紀後半

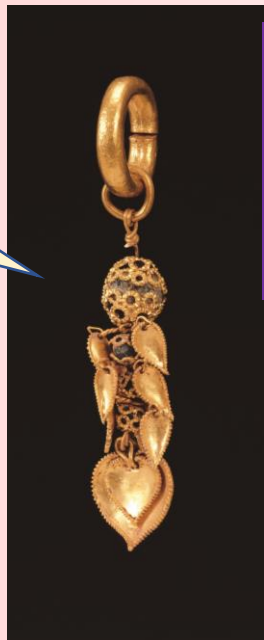
韓国国立全州博物館蔵



百済

第5章 加耶のたそがれ

西から迫る
百済



大加耶

562年 大加耶が新羅
に武力で征服される

532年 金官加耶が
新羅に投降

金製耳飾り（きんせいみみかざり）
陝川玉田M11号墳出土
6世紀前半
韓国国立晋州博物館蔵

小加耶



東から迫る
新羅

台付長頸壺（だいつきちょうけいこ）
固城内山里8号墳出土
6世紀前半
韓国国立晋州博物館蔵

第二部 渡来人

- 加耶に限らず、朝鮮半島から弥生時代・古墳時代にわたってきた渡来人の足跡をたどる
- 第6章 稲づくりと国づくり
- 第7章 渡来人と生きる
- 第8章 技術革新
- 第9章 渡来馬と渡来牛

第二部 渡来人

・ 渡来人の姿

淑女は
海を越えた

重要文化財

金製垂飾付耳飾り

(きんせいすいしょくつきみみかざり)

奈良県橿原市・新沢千塚126号墳出土

5世紀

東京国立博物館蔵



倭

古墳に立つ、
渡来人ファッション

千葉県指定文化財

渡来人形埴輪

(とらいじんがたはにわ)

千葉縣市原市・山倉1号墳出土

6世紀

市原市教育委員会蔵



倭

第6章 稲づくりと国づくり

農耕



倭

文字



倭

計量単位



倭

無文土器（むもんどき）と
弥生土器（やよいどき）
佐賀県小城市・土生遺跡
紀元前3～紀元前2世紀
小城市教育委員会蔵

「竟」線刻土器
（「きょう」せんこくどき）
福岡県糸島市・三雲遺跡
3世紀
九州歴史資料館蔵

天秤権（てんびんけん）・
石杵（いしぎね）・**砥石**（といし）
大阪府八尾市・亀井遺跡出土
紀元前1～紀元後1世紀
（公財）大阪府文化財センター蔵

第7章 渡来人と生きる

・海路でつながる人々



各地の土器（かくちのどき）
福岡市・西新町遺跡出土
3～4世紀
九州歴史資料館蔵

海辺の市場に
集う人びと



長野県宝

渦巻文装飾付鉄剣

（うずまきもんそうしょくつきてっけん）
長野県木島平村・根塚遺跡出土
2～3世紀
木島平村教育委員会蔵

第7章 渡来人と生きる

・ 渡来人と倭人の営み



倭

渡来人が
つくった埴輪

コンパス文施文埴輪

(コンパスもんせもんはにわ)
福岡県太宰府市・成屋形古墳出土
5世紀
太宰府市教育委員会蔵



金官加耶

参考 筒形器台 (つつがたきだい)
金海礼安里138号墳出土
4世紀
釜山大学校博物館蔵

倭人と渡来人が
協力して首長を
支える

加耶にも輸出
された倭の甲



倭

甲冑 (かっちゅう)
福岡県朝倉市・小田茶臼塚古墳出土
5世紀
朝倉市教育委員会蔵

第8章 技術革新

鉄の恩恵



倭

鉄鎌（てつがま）

大阪府四條畷市・葦屋北遺跡出土
5世紀

大阪府教育委員会蔵

小加耶になった
須恵器づくり



倭

初期須恵器（しよきすえき）

福岡県筑前町・朝倉古窯跡群・小隈古墳
5世紀

筑前町教育委員会蔵

かまどの普及と
料理革命



倭

移動式かまど（いどうしきかまど）

大阪府四條畷市・葦屋北遺跡出土
5世紀

大阪府教育委員会蔵

第9章 渡来馬と渡来牛



倭

初めての牧場

飾られた馬



倭

四條畷市指定文化財

馬形埴輪（うまがたはにわ）

大阪府四條畷市・南山下遺跡出土
6世紀

四條畷市教育委員会蔵

木製鞭（もくせいむち）・ブラシ

大阪府四條畷市・奈良井遺跡出土
5世紀

四條畷市教育委員会蔵

馬を育てて地域社会
に貢献した人びと



倭

四條畷市指定文化財

仔馬形埴輪（こうまがたはにわ）

大阪府四條畷市・忍ヶ丘駅前遺跡出土
6世紀

四條畷市教育委員会蔵

特別展「加耶」の見どころ

- 日本国内では**30年ぶり**、加耶をテーマにした大規模な展覧会
- **最新の発掘成果**をもとに、加耶の興亡と交流の歴史を示す
- 加耶と**倭（日本）**の交流を考古資料から示す
- 韓国から巡回した「第一部 加耶の興亡」に加え、国内資料による「**第二部 渡来人**」を追加
- 加耶の金銅冠（**韓国宝物**）、千葉の渡来人形埴輪（**千葉県指定文化財**）、長野の渦巻文装飾付鉄剣（**長野県宝**）など、貴重な資料が一堂に
- 加耶と渡来人を知ることで、**日本文化の形成過程**がわかる

- 出展作品273件
第一部 162件（韓国から巡回）
うち、韓国宝物 3件
第二部 111件（国内作品）
うち、重要文化財 11件

特別展
加耶

令和5年(2023)

1/24^火 ~ 3/19^日